

2023年7月4日

報道関係者各位

東京医科歯科大学病院

世界初、「触覚」を有する手術支援ロボットシステム 「Saroa サージカルシステム」を用いた手術に成功

【ポイント】

- 「触覚」を有する手術支援ロボットシステム「Saroa サージカルシステム」を用いた世界初の手術を大腸がんに対して2023年7月3日に実施し、無事に手術が終了しました。

東京医科歯科大学病院(病院長:藤井靖久)、大腸・肛門外科(教授・診療科長・低侵襲医療センター長:絹笠祐介)らは、「触覚」を有する手術支援ロボットシステム「Saroa サージカルシステム」を用いた世界初の
大腸がん切除手術を2023年7月3日に実施し、無事に手術が終了しました。

患者さんの病名は「S状結腸がん」、40代で性別・居住地は非公開、2023年5月に地域の検診で異常が見つかり、他院で精密検査を受け、大腸がんの疑いがあると診断され、同月、当院を受診しS状結腸がん
と診断。6月に手術予定を組み、7月3日に手術を実施しました。手術時間は約2時間58分でした。

患者さんは現在、当院に入院中で手術後の経過も良好、一週間ほどで退院の予定です。

絹笠祐介教授は、「無事に手術が終わり、肩の荷が下りました。別の手術支援ロボット「ダビンチ」を用いた手術は1,000件以上経験して慣れていますが、「Saroa サージカルシステム」は世界でまだ誰も手術に用いたことがなく、お手本も全くない新しいロボットを用いた手術だったので、いつも以上に神経を使い慎重に行いました。触覚という、前人未到の機能を備えた点がSaroaの最大の利点で、術者の安心感につながることで安全な手術を施行できることが利点だと思います。症例によっては触覚があることが優位に働くケースも出てくると思います。しかしまだ現在のSaroaには、全ての触角が備わっているわけではないので、ロボットの基本性能を含めて、今後も開発研究に協力していく予定です」と述べています。

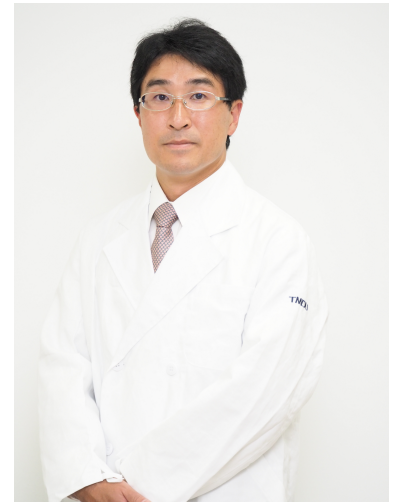
「Saroa サージカルシステム」(承認番号:30500BZX00108000、以下「Saroa」)は、東京医科歯科大学(学長:田中雄二郎)と東京工業大学(学長:益一哉)ならびにリバーフィールド株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:只野耕太郎)が共同開発し、従来にはなかった触覚(力覚)を有することにより、自分の指で直接手術しているような感覚が得られ、安全で高精度な手術の実現が期待されています。

【手術のようす】



【研究者プロフィール】

絹笠 祐介（きぬがさ・ゆうすけ）Kinugasa Yusuke
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
消化管外科学分野 教授
東京医科歯科大学病院 大腸・肛門外科 診療科長
低侵襲医療センター センター長



所属学会（資格）

日本外科学会（専門医、指導医）
日本大腸肛門学会（専門医、指導医、評議員）
日本消化器外科学会（専門医、指導医、評議員）
日本内視鏡外科学会（評議員、技術認定医）
JCOG 大腸がんグループ（運営委員会メンバー）
大腸癌研究会（施設代表者、世話人、ガイドライン委員）
日本ロボット外科学会（理事、評議員、Robo-Doc Pilot 国内A級）
日本癌治療学会（International Cancer Conference Journal Editorial Board）

【問い合わせ先】

<研究に関すること>

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
消化管外科学分野 教授
絹笠 祐介（きぬがさ・ゆうすけ）
E-mail : kinugasa.srg1@tmd.ac.jp

<報道に関すること>

東京医科歯科大学 総務部総務秘書課広報係
〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45
TEL : 03-5803-5833 FAX : 03-5803-0272
E-mail : kouhou.adm@tmd.ac.jp

【「Saroa サージカルシステム」外観】



ペイシェントカート



サージョンコンソール

<Saroa サージカルシステムに関すること>

リバーフィールド株式会社 広報担当
TEL : 03-6822-9700
e-mail : interview_req@riverfieldinc2.com